

新保護者連絡システムの導入について

教育委員会事務局 学校教育課

1 現状と課題

現在、学校では（１）～（３）を用途に応じて利用するシステムを使い分けているが、以下のような課題がある。

- （１）緊急時のメール配信：おれんじめーる（スクールメールアシスト）
 - ・令和５年度末でサービスが終了する。（他のサービスに移行が必要）
 - ・電子メールの配信のみで、ファイル添付ができない。
- （２）学校からのお知らせ等の配信：Google Classroom
 - ・教育委員会から保護者や地域の協力者へ直接配信できず、配信には学校に転送してもらう必要があり、学校の負担が大きい。
 - ・既読の確認や検索ができない。お知らせ等の配信以外にも授業でも使用していることから重要な通知等がわかりにくい。
- （３）欠席連絡・アンケートの実施：Google Forms（一部学校）
 - ・欠席連絡やアンケート等は学校ごとに作成・設定する必要がある。
 - ・Google Drive 上に情報が保存されるため、利活用時の操作ミスによる個人情報流出のリスクがある。

2 保護者連絡システムの要件

1 の課題を解決するために、以下の要件を満たす保護者連絡システムを新規に導入する。

- （１）学校や教育委員会、PTA等から児童生徒・保護者・教職員・地域の協力者等への通知やファイルが配信できる。
- （２）保護者から学校への欠席・遅刻・早退等の連絡の送信できる。
- （３）学校や教育委員会等からのアンケートの実施と自動集計できる。

3 導入による効果

- （１）学校（教職員）
 - ・文書配布機能による、データ配信や印刷物配布に要する時間と用紙・インク等の削減
【参考】桃川小学校 データ配信：1.6分/件（28分/18件）、印刷物の配布：17.5分/件（105分/6件） 児童数428人 2023年1学期末
 - ・欠席連絡機能による、朝の電話対応に要する時間の削減と、情報共有による不登校傾向等の早期発見と組織的対応

【参考】横浜市立A中学校 欠席連絡の電話受信：1,284件×3分=64時間（生徒数243人 2022年4月19日～10月31日）

・アンケート機能による、配布・回収・集計に要する時間の削減

(2) 保護者

・きょうだい連携機能を利用した複数の学校・学級や、教育委員会・部活動等からの通知の一覧表示による利便性の向上

・連絡先の複数登録とアプリ・メールでの配信による迅速な情報提供と個人情報の保護

・多言語自動翻訳による外国人の保護者への確実な情報提供

(3) 前橋市・教育委員会

・学校の教職員や全児童生徒・保護者への迅速な情報提供

・全児童生徒・保護者へのアンケートの配布・回収・自動集計による迅速な実態把握と施策への反映

(4) 地域の協力者等

・学校だよりや各種行事のお知らせ等の自治会長等への確実な情報提供

・登下校時刻変更等の交通指導や見守り隊、安全パトロール等の関係者への迅速な情報提供

4 導入システムの選定

(1) 各自治体や学校等で使用実績のある10社の保護者連絡システムの機能比較を実施

(2) (1)のうち価格から5社の製品を情報教育推進係内で試験利用を実施

(3) (2)のうち2の要件定義を満たす3社の製品を校務支援部会で試験利用・意見集約を実施

(4) 校務支援部会の意見集約の結果、試験利用の結果が高評価であること、導入コストが低い等の理由から、新たな保護者連絡システムにバイザー株式会社の「すぐーる」を推薦することを、全員一致で決定

5 表決内容

新保護者連絡システムとしてバイザー株式会社の「すぐーる」の導入を決定したい

6 今後のスケジュール（予定）

(1) 令和6年3月中にシステム構築・教職員アカウント登録・利用研修・試験運用

(2) 令和6年4月より児童・保護者を登録して運用開始